



こどもたち

# TEKNA

2025年クリスマス号

12月17日（水）10時30分～

オルバン教会にて



植松功さんによる「テゼの祈り」

出席者：植松栄子、丸川陽子、三浦万都美、  
安井晃子、阿部園子（聖オルバン教会）  
大宮磨紀 高津達夫、遠山京子、廣島都留、  
渡邊明子（zoomでの参加）

いつものように聖ミナスとイエスさまのイコンを前に  
功さんの静かな歌声から始まりました。

今日は3つのことを中心に祈りの時を持ちました。

1つ目は、予期せぬこと(あまりよくない事)が起こっ  
たことがあるか？それはどんな事か？

植松さんが大学でそのことを生徒たちに聞いた時、  
ある生徒さんが語ってくれたのは、予期せぬ苦しい経  
験、それはまだ終わったわけではない。しかしその苦  
しみの中、イエスさまの誕生を祝うクリスマスを迎える  
喜びを語ってくれたそうです。

2つ目は拒絶されたことはあるか？あるいは拒絶した  
ことはあるか？

功さんのテゼの会でページェントの即興劇をやったそ  
うです。マリアとヨセフが宿屋を訪ねる場面で、宿屋の主  
人役になった人は、それなりの理由を付けて断る。何軒  
もの宿屋に断られ、最後にたどり着いた宿屋の主人によ  
ってマリアとヨセフだけでなくすべての出演者が受け入  
れられる。というものだそうです。



3つ目は片隅に追いやられたことがあるか？  
あるいは片隅に追いやったことはあるか？

この3つは全てクリスマスの出来事です。世の  
中ではきらびやかなクリスマスを迎えています  
が、実はイエスさまの誕生の中に、この3つのこ  
とが起こっていたのです。

深いクリスマスへの思いになりました。



## 2025年 JCON 九州研修の旅 IN SEARCH OF JAPAN'S HIDDEN CHRISTIANS 隠れキリシタンを探して

ソフィア阿部園子

長崎と五島列島は2023年に個人で行ったばかりでした。五島列島は世界遺産になっている教会に訪問したかったのですが、限られた世界遺産になっている教会しか訪問できませんでした。福江島で、島民の方で隠れキリシタンのお墓のお世話をされている仏教徒の方に出会ってお話した時に、「現在は殆ど隠れキリシタンの末裔の方はいない。」とおっしゃっていました。世界遺産になり、観光客のための資料館の様になっているような教会もあり、実際にミサは行われていなかったもので、少し残念な思いでした。今回は、英語のツアーガイドがつくというので、もう一度五島を訪れたいという思いで、参加しますと言ってしまいました。

ツアーが近づいてくると、準備のために洋書を1冊読んで参加というお勉強ツアーという事を知りました。今更行けないとも言えないので、とりあえず手に入れて、気にはなっていたのですがほとんど読まず、ツアーが近づいて来ました。遠山京子さんにとりあえず遠藤周作の「沈黙」の映画を見たら良いというので、以前見たことはあったのですが、新たにアマゾンプライムで見ました。

初日10月9日は福岡に入り、主教座聖堂の福岡聖パウロ教会を訪問致しました。柴本主教様をはじめ、教区や教会の方々が我々を迎えて下さり、教会の中を案内して下さいました。福岡聖パウロ教会は主教座聖堂・教区センターもかねており、小聖堂、ゲストハウスもあり、納骨堂もありました。また、聖堂正面に設置されているステンドグラスは、もともとアイルランド共和国コーク市近郊の英国国教会マロー・ユニオン教会を飾っていたもので、教会が整理統合されることになった時、コーク市を訪れた飯田徳昭元九州教区主教を通して譲渡され、1993年12月22日に福岡聖パウロ教会に設置されたという事をうかがいました。

10月10日は長崎に入り、26殉教者記念像を見て記念館を訪れました。記念館のマネージャーの宮田さん(最近HPで確認いたしました。)が偶然われわれの団体に気付かれて、流暢な英語で次々に説明して下さいました。その後長崎聖三一教会に伺い、牛島司祭に教会の歴史について色々伺うことができました。

1859年6月末にウイリアムズ主教が来日し、最初ミッション活動を行う事はできず、長崎市内の私邸や英国領事館(妙行寺内)を使って英語教育を開始しました。徐々に礼拝をお捧げすることができ同年9月19日に来日した聖公会信徒のトーマス・グラバーも礼拝に参加したようです。この辺りの様子は、牛島司祭に共有して頂いた立教学院創立150周年記念の映画「道なかば」をご覧ください。映画に牛島司祭も出演されています。

[https://youtu.be/GkBmNDJSS2Y?si=c0utn9e\\_kpL9djAg](https://youtu.be/GkBmNDJSS2Y?si=c0utn9e_kpL9djAg)

また、プロの歌手でいらっしゃる牛島夫人との馴れ初めをうかがったり、一緒にテゼの歌を歌ったりと恵み多い一時でした。牛島司祭のお名前に聞き覚えがあると思っておりましたら、ロイド司祭の前にNYMJMの礎を作られた秋吉司祭のお父様のことを書かれた池澤夏樹さんの「また会う日まで」(朝日新聞に掲載)に現在の司祭のおじいさまにあられる牛島



司祭のお名前が度々登場しておりました。その後グラバー邸を見学してその日は終了致しました。

11日は出島を見学し、午後に五島列島の福江島に移動し、現在堂崎天主堂キリシタン資料館を訪れ、キリスト教弾圧時代から明治以降の信仰の歴史を物語る資料を見ました。福江島のホテルに1泊しました。

12日は地元のカトリック福江教会でミサを見学しました。多くの信徒の方が参加されていて、女性の方はみなベールを着用されて、主日の聖餐式を守られていました。礼拝後信徒の方に伺うと1200名もの信徒の方が属されているとの事でした。礼拝後、青田神父様と少しお話することもできました。お昼は眺めの良い日本料理屋さんで囲炉裏料理を頂きました。その後カトリック水の浦教会を訪問しました。大型バスでの移動だったので、バスを降りて急な坂を登ったり、皆さん大変な思いでした。その後長崎に移動して、10日に宿泊したスタジアムホテルに滞在しました。疲れていても夕食後宿題になっていた本の分かち合いは頑張っていました。



13日は朝、平和公園を見学し、長崎平和資料館、平和祈念の像を見ました。戦国時代にキリスト教が布教され、その後、キリスト教禁止令。多くの隠れキリシタンが弾圧の中、信仰を守ったこの長崎に、何故原爆が落とされなければならなかったのか、資料館の中にある天主堂の破壊された残骸の前に立ちすくんでしまいました。

その後、外海（そとめ）地区にある遠藤周作文学館とカトリック黒崎教会、出津教会を訪れました。課題の本は2016年マーティン・スコセッシ監督の遠藤周作の「沈黙」の映画を元にしたものです。隠れキリシタンの地に遠藤周作の文学館



あったので遠藤周作の違った面も理解されたと思います。

地区には多くのカトリック教会があり、現在でもミサが行われています。昼食をとった料理屋さん、隠れキリシタンの写真集が沢山あったので、「クリスチャンですか？」と伺うと、おかみさんが、一族クリスチャンで、おばさまはシスターだと答えて下さいました。カトリック黒崎教会も出津教会も、外海地区で産業振興や社会福祉にも貢献したフランス人宣教師ド・ロ神父の建てられた教会で、偶然お会いした信徒の方のおばあ様はド・ロ神父と直接お会いになったことがあるというお話をお聞きました。また、映画にあるような弾圧のあった所もあるが、お寺の住職がクリスチャンであることを承知して、公には仏教徒という事にして、信仰を守ったという話もあるようです。



14日は長崎を出て福岡に戻る途中に大村地区にある石井筆子さんの像を訪れました。石井筆子さんは滝乃川学園の創始者で、MJM東京で以前大変お世話になった、吉村司祭や遠山京子さんのお父様の遠山司祭も滝乃川学園でチャプレンとしてご奉仕されたと伺っております。MJM東京では2015年に吉村司祭がお持ちくださった「天使のピアノー石井筆子の生涯」の映画をオルバン教会でみんなで観ました。



津田梅子さんも石井筆子さんの協力者で、共に聖公会だと、と遠山京子さんがおっしゃっていたのですが、ちょうどそんな時に北関東教区との「きょうどう通信」11月号に東京教区の聖愛教会に教会巡礼されたご報告があり、共に聖愛教会

の信徒であったということが分かりました。（以下は「きょうどう通信」の文章の抜粋です。）

信徒の方が「聖愛教会の歴史」を説明されました。1889年麹町にて創立され、そのメンバーには、石井筆子、津田梅子等があり、瀧廉太郎もこの教会で洗礼を受けたとのこと。関東大震災で全焼後1934年に幡ヶ谷に移り、そこも1945年7月の空襲で焼失し、1947年に成城、そして、1950年に現在の祖師ヶ谷大蔵に移ったそうです。1967年～1970年には「ファーザー」の愛称で親しまれた竹田鐵三司祭が牧師として赴任し、近隣にお住まいだった画家、福沢一郎と懇意だったそうです。

福岡に入る私にとって最後の教会は福岡ベテル教会でした。信徒奉仕者の馬場さんと3人の信徒の方々が我々を

暖かく迎えて下さいました。玄関には、「英イングランド教会の最高指導者であるカンタベリー大主教に10月3日、デイル・サラ・マラーリー(63)が指名されました。女性がこの役職に選ばれるのは初めて。」という記事と大主教の写真が貼られていました。それはこの教会の成り立ちを知ると納得できます。その後以下のような福岡ベテル教会の成り立ちをお話して下さいました。（教会ホームページよりの抜粋）



福岡ベテル教会の歴史は日本聖公会九州教区の伝道師古賀フジから始まります。

1879年(明治12年) 福岡市に古賀フジ誕生。長じて佐賀県人古賀亮造に嫁ぎ二男四女をもうける。転居先の直方で英国宣教師ミスホーンと出会い、キリスト教に傾倒する。

1920年(大正9年) 英国宣教師ローランズ司祭により家族共々洗礼を受ける。

1924年(大正13年) アーサー・リー監督(主教)より伝道師の認可を受け伝道に専念する。

古賀フジは福岡市南部にある屋形原の国立療養所南福岡病院(結核療養所)(現在の国立病院機構福岡病院)に患者のお見舞いに行っていたが、病院の裏手にある丘で祈っていた時、「足から履物を脱ぎなさい。あなたの立っている場所は聖なる土地だから。」(出エジプト記3章5節)という言葉に心に覚え、その地を購入して伝道することを決心する。

私の九州の旅の最後に教会の原形のような福岡ベテル教会を訪れ、信徒の方とお話させて頂いたのは大きなお恵みでした。翌日他のメンバーは広島に向かい、多くの教会や平和公園などを巡られました。

11月の末に、東京教区と北関東教区は共に新たに東日本教区として歩むことになりました。このような機会に先人たちの歩みをたどることは私にとって貴重な学びの時間でした。NY MJMも MJM 東京も、この長い道のただ中にいるという事をあらためて確認することができました。



## 12月6日景山肇彦生誕80周年記念コンサートが雑司ヶ谷音楽堂で開かれました。

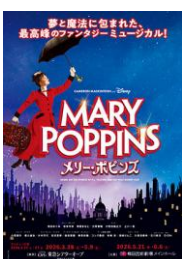
以下のご招待が景山恭子さんからありました。

今年6月24日に80歳になりました Hats は生涯現役！ニューヨークを基盤に日本、米国、中国、韓国を飛び回る日々ですが、歌への情熱はさめることなく voice training のレッスンを続けてまいりました。



このたびみなさまの変わらぬ友情への感謝を込めて下記のように「80歳記念コンサート」を開催することとなりました。当日は MJM 東京からも数名楽しませて頂きました。これからもお元気でご活躍下さい。

## 高橋慈生(じょう)さんメアリーポピンズに出演決定



遠山京子さんの甥御さんで、小金井聖公会の牧師の高橋顕司祭の息子さんの高橋慈生さんが、3月28日から渋谷のシアターオーブでメアリーポピンズにネーレウス役として出演されます。

MJM 東京のメンバーの数名は4月22日の13時からの舞台を見に行く予定にしております。



## ご案内

### 東京教区共育プロジェクト

#### ◇共育プロジェクト 黙想会 参加費無料、事前予約不要

主催：信仰と生活委員会 共育プロジェクト

【テゼの歌・アイコン・沈黙】

日時：1月14日（水）、2月25日（水）、3月18日（水） 18時半～19時半

場所：目白聖公会

ファシリテーター：植松 功

#### ◇共育プロジェクト 随時開催される黙想会や祈りを深めるためのプログラム 申込みや参加費が必要です (必要のないプログラムもあります)

2026年（予定・詳細は日本聖公会東京教区ホームページをご覧ください。）

●1月12日（月・祝）コリドーウォーク

●2月22日（日）～24日（火）

休息と沈黙のリトリート

●3月11日（水）音楽黙想会（仮題）

●4月29日（水・祝）コリドーウォーク

●7月8日（水）コリドーウォーク

●10月8日（木）コリドーウォーク

※会場はすべて「ナザレの家」（東京都三鷹市）の予定です

## 下町グループの聖書会

### 毎月第3金曜日19時より zoom にて上田亜樹子司祭のもとで行われます。

この会は私たち MJM 東京の例会でもなじみのある、キャンドル会の形式で行われます。

いつもご案内下さり、聖書箇所を表を送って下さる高津さんから下町聖書の会についてご説明頂きました。

下町聖書の会は、月3回のうち2回は、午前中、神田キリスト教会で行われています。残り1回は、第3金曜日の19時から神愛教会で行われていました。この聖書の会が、コロナの影響で ZOOM で行うことになりましたのが経過のようです。2つの企画が競合した場合は、先の企画が優先させるのが適切と考えます。可能ならお互いに調整してもよいと考えます。

私は、外出が股関節痛の影響と心臓のステント留置による感染症の影響で困難になり、ドクターと相談して、人との接触を避けた ZOOM に特化して、積極的に参加しています。外出は、交通機関の人混みが危険とらえています。現段階では ZOOM での聖書研究は信仰を有意義にする一つです。

▽下町教会グループ 聖書の会 予約は不要です。時間になったらおいで（入室）ください。

下町以外からのご参加も多数あります。皆様のご参加をお待ちしています。

聖書の会 (ZOOM)

日時：2026年1月16日(金) 19時～20時半

\*次の主日の福音書を分かち合います。

なお、ZOOM の URL が変更になりましたので、ご注意ください。

<https://us02web.zoom.us/j/83272012369?pwd=g6g0RTNvgiOSr7ZgGihFMXahqNEaNL.1>

ミーティング ID: 832 7201 2369

パスコード: 658245

12月17日の「テゼの祈り」の後、4名で近くのおしゃれなカフェでランチいたしました。



コロナの前までは毎回のように、例会の後近所でランチしたことを懐かしく思い出しました。  
時にはランチをして交流を深めたいなと感じました。

MJM 東京は NY MJM のリターニーの方々が中心になって行われている、超教派の集まりです。

NY MJM でも下のような活動が行われ ZOOM などで参加できます。

詳細は MJM 東京にお問い合わせください。

**MJM の活動** (MJM のプログラムは日本語のみで行われています。時間は NY 時間です。)

12月25日(木) 午後2時 MJM クリスマス礼拝 バイリンガル礼拝(対面と Zoom) スカースデール聖ジェームス・ザ・レス教会 シン主教司式、説教

12月27日(土)午後5時 MJM 日本語の聖書会 (Zoom) 朝倉巖神学生がリードされます。

12月28日(日)午後1時半 Japanese Community Gathering at the Cathedral (大聖堂にて対面)  
毎週木曜日 5時よりおやつタイム (Zoom) \* 12月25日を除く

TEKNA に掲載して、メンバーの皆様に共有したい活動がありましたら、どうぞご寄稿下さい。

TEKNA は1年に3回(クリスマス、イースター、夏号)メール添付にてメンバーにお届けしております。

今回も TEKNA はメールでのお届けになります。郵送をお望みの方はお知らせください。

会費は頂いておりませんが、ご支援くださる方は三菱 UFJ 銀行に献金をお願い致します。

本年度(2025年8月～現在)横山融さんと三浦万都美さんから献金を頂きました。感謝致します。

テゼの会の会場のオルバン教会へ、MJM 東京から2000円お捧げいたしました。

また、席上献金は植松功さんの活動のためにお捧げいたしました。



三菱東京 UFJ 銀行 吉祥寺支店(店番:220)普通 口座番号 1793933

(ゆうちょ銀行は口座を閉じることに致しましたので、宜しく願い致します。)

MJM 東京のメールアドレス

[mjmtokyo.tekna@gmail.com](mailto:mjmtokyo.tekna@gmail.com)

毎月の例会のお知らせは e メールでご案内しています。登録がまだの方は、メールをください。よろしくお願いいたします。